

Tokuyama College		Year	2021	Course Title	Intellectual property
Course Information					
Course Code	0040		Course Category	Specialized / Compulsory	
Class Format	Lecture		Credits	School Credit: 1	
Department	Department of Computer Science and Electronic Engineering		Student Grade	3rd	
Term	Second Semester		Classes per Week	2	
Textbook and/or Teaching Materials	小川勝男ほか：「技術者のための特許実践講座」森北出版(2016), 特許庁：「産業財産権標準テキスト」(特許編・意匠編), 文化庁：「著作権テキスト」(2019)				
Instructor	Takayama Yasuhiro				
Course Objectives					
産業財産権、著作権とは何かを理解し自分で説明でき、活用できる。特許の作成に必要な知識を身につけて実際に特許文書を作成できる。					
Rubric					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
産業財産権	産業財産権の考え方を活用できる。		産業財産権の重要性が理解できる。		産業財産権の重要性が理解できない。
著作権	著作権の考え方を活用できる。		著作権の重要性が理解できる。		著作権の重要性が理解できない。
特許	特許文書(明細書, 図面)を作成できる。		特許の重要性が理解できる。		特許の重要性が理解できない。
Assigned Department Objectives					
到達目標 C 2					
Teaching Method					
Outline	<p>知的財産権は、主に産業財産権と著作権からなる。授業では3つのことを学ぶ。</p> <p>(1) 特許権や商標権などの産業財産権に関して、技術者として必要な知識を習得する。</p> <p>(2) 著作権は日常生活や学校生活(レポート・論文作成)など身近に関わるものであることを理解し、著作権の基本事項を学ぶ。</p> <p>(3) 特許出願を想定し、アイデアの創出、類似技術の調査、特許明細書・図面の作成の一連の流れを学ぶ。</p> <p>この科目は、企業で実際に技術契約や特許作成に関わる実務を担当していた教員が、その経験を生かして、知的財産についての講義形式や特許作成に関する演習形式で授業を行うものである。</p>				
Style	<p>講義を2部に分ける。後期中間試験までの第1部は、講義を主体に授業を進める。教科書、配布資料や板書等の内容を自分でまとめる復習が必須である。試験以後の第2部は、特許出願を想定して、アイデアを練り、明細書を作成する演習を行い、創造演習(4年次)・創造製作(5年次)の準備を行う。</p> <p>事前事後学習として、前半では、各回の授業の復習を授業まとめノートの形で作成(計約7時間)、後半では、特許作成演習レポートの演習(計約8時間)を行う。</p>				
Notice	<p>成績評価式：試験点(60点満点) + 課題点(10点満点) + 演習点(30点満点)；ここで、試験点 = $0.6 \times (\text{中間試験点}(\text{百点満点}) + \text{期末試験点}(\text{百点満点})) \div 2$ とする。ただし、小数点以下は四捨五入して計算する。あ</p>				
Characteristics of Class / Division in Learning					
<input type="checkbox"/> Active Learning		<input type="checkbox"/> Aided by ICT		<input type="checkbox"/> Applicable to Remote Class	
<input type="checkbox"/> Instructor Professionally Experienced					
Course Plan					
			Theme	Goals	
2nd Semester	3rd Quarter	1st	知的財産権とは 【事前事後学習の内容(1時間)】まとめノート作成	知的財産権の概要、必要性について理解できる。	
		2nd	特許権、実用新案権 【事前事後学習の内容(1時間)】まとめノート作成	特許制度などの産業財産権、その保護期間などについて理解できる。	
		3rd	意匠権、商標権 【事前事後学習の内容(1時間)】まとめノート作成	特許に関連する権利として意匠(デザイン)や商標(ブランド)などの権利について理解できる。	
		4th	著作権の基礎(1) 【事前事後学習の内容(1時間)】まとめノート作成	著作権制度の概要、著作物・二次著作物などについて理解できる。	
		5th	著作権の基礎(2) 【事前事後学習の内容(1時間)】まとめノート作成	著作権制度の概要、著作物・二次著作物などについて理解できる。	
		6th	身近な生活と著作権 【事前事後学習の内容(1時間)】まとめノート作成	著作権の制限、私的利用について理解できる。	
		7th	ITと知的財産権 【事前事後学習の内容(1時間)】まとめノート作成	フリーソフトウェア、オープンソフトウェア、ライセンスの種類(GPLなど)について理解できる。	
		8th	中間試験	知的財産権、著作権についての理解度を確認する。	
	4th Quarter	9th	特許演習(1) 【事前事後学習の内容(1時間)】アイデア出しメモ作成	アイデア創出法などの特許作成のための準備が行える。	
		10th	企業と特許 【事前事後学習の内容(1時間)】まとめノート作成	企業等における特許の重要性について学ぶ。	
		11th	特許演習(2) 【事前事後学習の内容(1時間)】アイデアシート作成	グループ単位でアイデアを練り、独自のアイデアシートを作成できる。	
		12th	特許演習(3) 【事前事後学習の内容(1時間)】調査レポート作成	創出したアイデアについて類似技術や特許等の調査ができる。	
		13th	特許演習(4) 【事前事後学習の内容(1時間)】図面作成準備	システム構成図、機能構成図、動作の流れ図が作成できる。	
		14th	特許演習(5) 【事前事後学習の内容(1時間)】図面作成	特許明細書および図面を作成できる。	
		15th	特許演習(6) 【事前事後学習の内容(1時間)】明細書作成	特許明細書、図面が適切に書かれているかを自分で確認できる。	

		16th	完成レポート作成など 【事前学習の内容（1時間）】提出レポート作成	特許明細書、図面の書類を一式提出する。			
Evaluation Method and Weight (%)							
	試験	課題	レポート				Total
Subtotal	60	10	30	0	0	0	100
基礎的能力	50	5	0	0	0	0	55
専門的能力	10	5	10	0	0	0	25
分野横断的能力	0	0	20	0	0	0	20